

令和6年度 第1回やまなしプラスチックスマート連絡協議会

【日時】

令和6年11月5日（火曜日） 10時30分～12時00分

【場所】

山梨県立図書館イベントスペース西面（甲府市北口2丁目8番1号）

【内容】

13名の委員（オンライン出席を含む）が参加し、行政や各団体におけるプラスチック対策に関わる活動、新たな山梨県プラスチックごみ等発生抑制計画の素案について、以下のとおり意見を交わしました。

また、県民に対してプラスチックごみの発生抑制に関する啓発活動を行うプロジェクトチームの設置について、委員より提案がありました。

1. 県の事業報告

- ① 令和5年度河川マイクロプラスチック調査結果
- ② 令和5年度県内河川の環境美化啓発イベント
- ③ 令和6年度事業の報告
 - ・ 河川マイクロプラスチック調査
 - ・ 県内河川の環境美化啓発イベント・プラスチックごみ等発生抑制に向けた総括学習会
 - ・ 次期山梨県プラスチックごみ等発生抑制計画の策定
 - ・ トランク・ミュージアムの活用
 - ・ リーフレット・ポスターによる普及啓発

2. 協議会団体等の事業・成果報告

○山梨流通協議会

『ペットボトル・インクカートリッジ回収実績について』

- ・ ペットボトルの回収を行っているが、非常にきれいな状態で回収されている
- ・ 収益は教育委員会等に寄付している
- ・ JITとタイアップし、インクカートリッジの回収も行っている
- ・ リサイクルして得た収益を何かに役立てるため、各スーパーやメーカーと協力し、活動している

○海と日本プロジェクト in 山梨実行委員会

『富士観光開発との連携事業、「拾い箱」の設置等について』

- ・ 富士観光開発との連携事業として、富士五湖のホットスポットアンケートや清掃活動を実施した
- ・ 8月中、富士五湖に「拾い箱」を設置した
- ・ 山梨県トラック協会にステッカー1000枚などを寄贈した
- ・ 新潟県と山梨県の有志が参加したスポ GOMI in 川中島決戦を開催した

- ・ 高校生向けの大会として、「スポ GOMI 甲子園山梨大会」を開催した
- ・ 山梨放送開局 70 周年記念イベント「ジャン！FES」においてブースを設置し、「漂着物のトランク ・ ミュージアム[®]山梨県版」や山梨マイクロプラスチック削減プロジェクトの啓発パネルを用いて啓発活動を行った

3. 山梨県プラスチックごみ等発生抑制計画の素案の説明及び意見聴取

○山梨県環境・エネルギー部環境整備課

- ・ 一人ひとりが「プラスチックと賢く付き合っていく」ことの重要性を理解し、実践している山梨の姿を「やまなしプラスチックスマート」と定義し、その実現を目指すことを基本方針とした
- ・ 計画の進捗状況を評価するための指標として、6つの数値目標を選定した
- ・ 発生抑制対策については継続していくことが必要であると考えており、特に環境教育・普及啓発については、様々な事業を展開していきたい

【構成団体からのご意見】

(計画の素案に対するご意見)

- ・ 発生抑制対策には人工芝についての言及がありませんでした。人工芝の流出防止に関するガイドラインを目指していただければという希望があります。
- ・ ワンウェイプラスチックの抑制ということで、県民みんなで減らしていくため、いわゆる「リユース」を検討していただければと思います。よい例として、東京都がリユースの導入を進めておりまして、かなりいい結果が出始めているので、参考にしていただければと思います。
- ・ 河川マイクロプラスチック調査をすごくよくやっていただいて、ありがたいと思います。上流においても、非常にマイクロ化しているということが、どこかに触れられているといいなと思っています。
- ・ イベントごみに関する記述を発生抑制対策の中にうまく入れるといいのではないかと思います。また、それを県民運動として展開していきたいということが、どこかに触れられていると良いかと思います。
- ・ この発生抑制計画は上位計画でございます。計画の中にどこか1行、アクションプラン等を進められるような文言があるといいなと思いました。

(その他のご意見)

- ・ 具体的なことをここで練らないと、また県が持って帰れば、半年間これは進みません。ヴァンフォーレ甲府の試合では、トレイは一切使わないとか、それから、SDGs とつなげた中で、山梨県はトレイを使わないという運動に持ってかないと、この協議会は何回やっても、堂々めぐりすると思います。

4. その他

『県民に対してプラスチックごみの発生抑制に関する啓発活動を行うプロジェクトチームの設置について』

- ・ プラスチックごみの発生抑制、特にワンウェイプラスチックの使用を削減していこうという県民運動ができたらと思い、県民への普及啓発を中心的に行うプロジェクトチームの設置を提案します。
- ・ 1つの理由として、企業や小売店等と話をする際に必ず言われるのが、「消費者のニーズ」という言葉です。私たち消費者の立場の意識改革をしていければと思っております。

【事務局の回答】

- ・ まだ検討中とお話ありましたが、どうやって進めていくのか、どうやって実行力を持たせるのかというところまで話をしていかないと、皆さん見えてこないと思いますので、引き続き皆さんの意見を聞く中で、じっくりやるべきかという印象を持ちました。
- ・ 次回この話題は触れていくべきかと思っております。